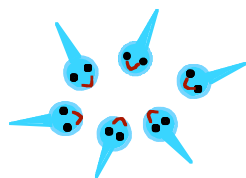


### 目 次

	頁
1. [巻頭言] 学会の独自性と理事の役目 . . . . . 安田 香	2
2. 気候と音楽の関わりを通してみる季節—日本やドイツの春を例として— . . . 加藤内藏進	3
3. 新入会員紹介 . . . . .	4
4. 会員によるコンサート案内 . . . . .	5
5. 会員による新刊紹介 . . . . .	8
6. 贈呈図書 . . . . .	9
7. 第7回大会のご案内 研究発表募集 . . . . .	9
8. 学会からのさまざまなお知らせ . . . . .	10
・『音楽表現学』Vol.7 投稿についてのお知らせ	
・ニューズレターへの投稿	
・学会の会員サポート制度をご活用ください	
・『音楽表現学』バックナンバー購入方法	
9. 事務局からのお知らせ . . . . .	11
・『音楽表現学』Vol.6刊行	
・『日本音楽表現学会会員名簿』改訂版刊行	
・年会費未納の会員へ	
・「退会規定」の検討について	
・「学会HP」アドレス変更と管理について	
・大変重要なお願い—住所変更について	
10. 「コンサート等後援願」書式 . . . . .	12
11. 「入会申込書」書式 . . . . .	12
12. 役員名簿・編集後記 . . . . .	12

日本音楽表現学会



〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6

事務局：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-4-3-801 安田香気付

E-mail: [music-expression@music-expression.sakura.ne.jp](mailto:music-expression@music-expression.sakura.ne.jp)

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/index.html>

年会費の振り込み→郵便振込口座：01370=6=78225 日本音楽表現学会

日本音楽表現学会事務局長 安田 香（ピアノ・音楽学）

今年度から事務局長を務めさせていただいております。今も奥前事務局長（現会長）のもとでインターン学習中です。理事会では、様々な案件をメール上で話し合っております。議論は実に活発で、結論に向かう過程は、室内楽アンサンブルとまったく同じです。

学会発足当時から私が考え続けているのが、学会の独自性です。「音楽表現学」とは何か、が確定されていればそれは自ずと明らかになるのですが、この学問は本学会が確立しつつあるものであります。学会員から「音楽に関わるいろんな学会に属しているが、この学会でしか得られないものがあるように思う」という声が聞こえてくることがあります。私もそうです。

大会に参加して強く感じることがあります。それは、多くの人と「共振」する、ということです。体内で音が鳴っている人（すれ違っただけで分かりませんが）に多く出会います。私の体内の弦がビビッと共振し、すっかり幸せな気分になります。私は、学会の独自性の泉をここに見出しています。本学会は、音楽を愛し、音楽で自己を表現し、音楽でコミュニケーションすることを大切に思っている人が集まっています。その純粋さを守っていかなければ学会の特質は失せてしまうでしょう。

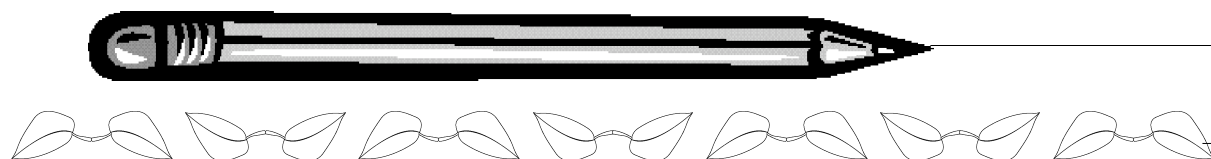
しかし、ほんわかと幸せな気分浸っているだけでは、集まってお茶を（お酒を？）飲んで「さようなら」です。上記の「音楽を愛し、……を大切に思っている人」とは、「自身と音楽の関わり

について考え続けている人」です。「考え続けている」ことを言葉にし、たがいに刺激を与えあってきたい。この刺激はまっとうなものでなくてはなりません。まっとうな刺激を受けて初めて各人の「音楽についての思索」が深まっていくのです。そして、各人の思索の集積が「音楽表現学」確立の道を示します。

「いままで学会に入ろうと思ったことがなかったけれど、この学会なら自分との接点が見出せるのではないかと思う」と入会された方々は、まことに頼もしい戦力です。ご自身と音楽との関わりについて思われるところを是非ともご提示下さい。そして、学会の楽しさを「学会なんて」としり込みされる方々にお伝え下さい。

私は、前述の「まっとう」路線の線路工事をするのが理事の役割であると考えています。自画自賛が過ぎるかもしれませんが、今期の理事もすばらしいメンバーです。特に上述の「純粋さ」では人後に落ちぬ面々です。が、私を筆頭に、うっかりヘルメットを被るのを忘れて新設工事、修復工事にあたり、おととつと、の場面も多くなりそうです。そんな時は皆さま、どうか支えてくださいますよう、ご協力をお願いします。また、ご要望・ご意見等ご遠慮なく事務局にお寄せ下さい。

来年の**プロムナード in フォレスト**で皆さまにお目にかかるのを楽しみにいたしております！



## 気候と音楽の関わりを通してみる季節

—日本やドイツの春を例として—

加藤内藏進（気象学・岡山大学教育学部）

音楽作品は一般的に自然や社会の環境に関わる固有の背景を持っており、当該地域の気候がその内容や表現に深く関わっている作品は多い。ドイツ文化圏では、春の中でも5月は特別な季節として位置づけられ、それも素材として組み込まれた歌曲や詩が多数ある。例としてSchubertの「美しい水車屋の娘」の中の～しぼめる花～、「冬の旅」の中の～春の夢～、等。また、レハールの喜歌劇「メリーウイドウ」にもヴァランシエンヌとカミュユによる二重唱（ちょうどバラの蕾が5月の光を浴びて花咲く様に、私の心に恋が芽生えた。・・・）が挙げられる。一方、日本の童謡・唱歌でも、季節を素材にしたものが多く、その中でも春を歌ったものが多い。それは、春になると寒い冬から開放され、花や鳥や農耕の開始などの営みが大きく変化するので、感性への刺激も大きいことが関係しているのであろう。

ドイツ中南部の5月頃の気温は、九州～関東の4月頃と同様な値である。しかし、季節変化としての気温の上昇率は、ドイツ中南部では5月、日本列島の3月終わり～4月初め頃に最も大きくなる（毎日の変化は大きい、その変化を平滑化して「季節の経過」として眺めた際に）。この急昇温の時期には、1ヶ月あたり約6℃もの昇温率になる。しかも両地域とも、季節的昇温の特に大きな時期が、太陽が45°より高い高度にある時間帯が急に長くなる時期に対応している（九州～関東では、2月10日頃：なし、3月10日頃：1日あたり3.3時間、4月10日頃：同5.3時間）。太陽高度が45°の場合には太陽が真上から照る場合の7割の日射を受けるので、前述の急昇温期には日差しの強さも特に大きく変化し、視覚的に大きな変化も重なるものと考えられる。日本でも、春を素材とした38曲の唱歌のうち、今述べた急昇温期やその直後の時期（二十四節気の春分(3月21日頃)～穀雨(4月20日頃))を対象としたものの数が、それ以前を対象としたものよりかなり多い点が注目される。

さて、日本について更に述べれば、3月までは冬

の寒気団の吹き出しをもたらすシベリア高気圧が出現していたモンゴル付近に、4月には黄砂に関与する発達した低気圧が出現しやすくなるという大気循環の変化に関連して、いわば「冬のシステムのほぼ完全な消滅」に対応して急昇温が起きる。


この時期の唱歌の例として、「朧月夜」を取り上げよう。この曲では、「においもあわく」全体として「かすみ」わたっている情景が眼に浮かぶ。「春風」が「そよふく空」ではあるが、全体を包んでいる「かすみ」を吹き払ってしまうような強い冷たい風ではない。前述の季節変化に対応して、4月になると、東進する移動性高気圧に覆われるため、穏やかな暖かい晴天の頻度が高くなる。「朧月夜」に歌われている情景は、そのような気象状況のもとである点を想像できる。

ところで、日本列島付近では、アジアモンスーンの影響を受けて冬には緯度が低い割に大変寒くなる一方、梅雨や秋雨という顕著な雨季がある。しかも、夏と冬との間の変化は、何回もの急激な季節的遷移を経る（前述の春の急昇温もその一つ）。日本の文化に見られる多彩な季節感は、このような季節サイクルによるものである。従って、他の季節の作品の鑑賞や演奏、歌唱指導についても、このような細かい季節遷移の中での位置づけの理解も有用と考える。一方、地球温暖化に関連して「どうも最近は季節が変だな」ということをいち早くキャッチしてその対策を考えるためにも、日本付近独特な季節サイクルを把握することが出発点となる。そのような季節の特徴を科学的に捉える際にも、逆に作品に表現されたイメージは重要なヒントの一つになりうる。このような視点から、気象学が専門の筆者であるが、音楽と気象との連携により、気候的背景の科学的イメージも踏まえて作品やその表現に迫るだけでなく、作品からのイメージをも気候の科学的把握へフィードバックさせるという双方向の教育プログラム開発に繋がる研究にも着手したところである。




## 新入会員紹介

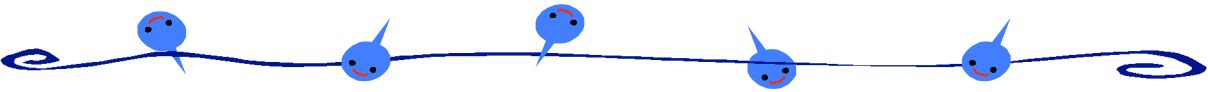
会員のプライバシー保護のために記事を削除しています。




### 会員によるコンサート案内



中村 滋延さん 名 称：中村滋延マルチメディア・コンピュータ音楽ライブ  
—ラーマヤナ さまよえる時—  
日 時：2008年11月14日（金）19:00  
会 場：アクロス福岡円形ホール  
入 場 料：一般 3000円 学生 1500円  
詳 細：<http://sound.jp/studiofreq/snlab/>  
後 援：日本音楽表現学会



村澤 由利子さん 名 称：鳴門日独友好協会創立30周年記念コンサート  
村澤 由利子(ピアノ) & ザルツブルガー・ゾリステン」  
～心に響くヨーロッパの調べ～  
日 時：2008年11月16日(日) 午後2時30分開演  
会 場：大塚ヴェガホール（徳島市川内町 Tel. 088-665-2126）  
プログラム；モーツアルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」  
ベートーヴェン「ピアノ三重奏曲第7番・大公」  
シューベルト「ピアノ五重奏曲・ます」  
チケッ ト：全席自由 一般4500円 学生2500円



赤松林太郎さん 名 称：赤松林太郎ピアノプロジェクト  
～リスト編曲による衝撃の「第九」からワーグナーまで  
期 日：2008年11月21日（金）19時開演  
会 場：スタインウェイサロン東京 松尾ホール  
趣 旨：フランツ・リストという人物を見た時、百花繚乱の時代を映した鏡であつたように思われます。リストが編曲したベートーヴェンからワーグナーに至る、ほぼロマン派全期の作曲家たちの作品をとおして、リストの果たした役割や影響力を検証します。多彩な活動で定評のある指揮者・木村康人



さんをナビゲーターにお招きして、対談形式で進めるコンサート・プロジェクトです。

主な内容：リスト編曲によるベートーヴェン、シューベルト、シューマン、ベッリーニ、ワーグナーのピアノ独奏作品

連絡先：Office La PARADE (tel/090-1380-0142)

後援：日本音楽表現学会



加藤 晴子さん、鶴澤 友珠さん、安田 香さん

名称：東西 女心を歌う・語る—オペラアリアと義太夫節サワリのふし比べ—

日時：2008年11月29日（土）午後2時開演

会場：兵庫県淡路市 ひがしうら文化館サンシャインホール

趣旨：オペラと義太夫節を取り上げ、演奏を交えながら声の表現の比較を行う。

主な内容：第1部では、曲の部分演奏を交えたレクチャーを行う。そこでは、オペラアリアと義太夫節サワりにみられる感情・心情表現の中で共通するテーマをもとに声の表現の比較を行う。今回取り上げるテーマは「願い」と「狂乱」である。取り上げる作品はオペラでは「クレタの王イドメネオ」「清教徒」、義太夫節では「本朝廿四孝」「日高川入相花王」である。第2部では、第1部で取り上げた曲、他を通して演奏する。

出演者：鶴澤友珠（向田由美）、加藤晴子、安田香

後援：日本音楽表現学会



山崎 智さん

名称：オペラ「おでん座」第7回公演

モーツァルト 歌劇《フィガロの結婚》全曲（日本語台詞による原語演奏）

日時：2008年12月14日（日）18:00開演（17:30開場）

会場：東大和市民会館（ハミングホール）小ホール

（西武拝島線「東大和市」駅より徒歩10分）

趣旨：オペラ「おでん座」は、様々な具が1つの鍋で煮込まれるおでんのよう  
に、「メンバーの個性を生かした味のある演奏」と、「楽しくオペラを伝えたい」という2つのモットーで活動

主な出演者：山崎 智（演出・伯爵）、山本訓久（指揮）、松井永太郎、小田麻子、他

連絡先：090-6489-3761 stimmbildner0301@gmail.com（山崎）



吉澤 実さん

名称：奈良、秋篠音楽堂 秋篠クリスマスコンサート

日時：12月21日（日）16:00 開演

会場：秋篠音楽堂

出演：吉沢実：リコーダー 永田平八：リュート

問い合わせ：プロアルテ・ムシケ



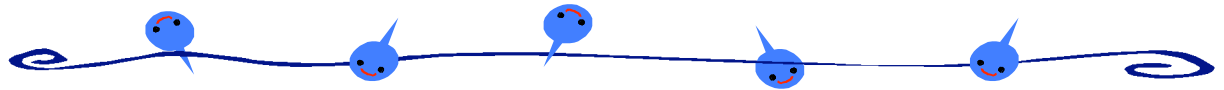
吉澤 実さん 名 称：ヤマハ銀座店クリスマス・コンサート  
吉澤実と荒川ともこ&荒川ファミリー  
日 時：12月23日（火・祝）午後・未定 1公演  
会 場：虎ノ門のJ Tホール  
問い合わせ：ヤマハ銀座店 管楽器売場Tel. 03-3572-3134  
(受付時間：平日10:30~18:00)  
詳 細：<http://www1.ocn.ne.jp/~mino/j/new.html>



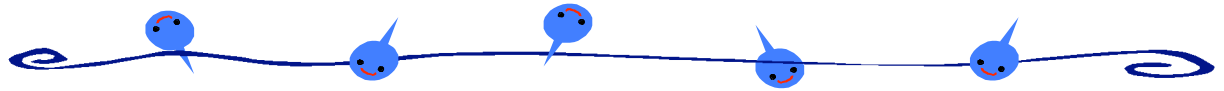
山田 貢さん 名 称：楽器の饗宴で綴る ピアノへの道  
～ピアノのルーツ、7台の古楽器がフィリアに集う～  
日 時：2009年1月10日（土）15：00開演  
会 場：フィリアホール（東急スクエアSpath-1 本館5 F）  
入 場 料：全自由席 4,000円  
演 奏：山田貢、竹ノ内博明他、プロデュース・レクチャー：村原京子  
問い合わせ：チェンバロ研究会 Tel. 045-961-9674



赤松林太郎さん 名 称：赤松林太郎ピアノリサイタル 2009  
日 時：2009年1月11日（日）14時開演  
会 場：神戸芸術センター シューマンホール  
プログラム：メンデルスゾーン：前奏曲とフーガ ホ短調 op.35-1  
スクリャーピン：左手のための前奏曲とノクターン op.9  
J.S.バッハ（ブゾーニ編曲）：シャコンヌ ニ短調  
シューマン：クライスレリアーナ op.16  
リスト：ハンガリー狂詩曲No.6 変ニ長調  
趣 旨：クララ・シューマン国際ピアノコンクール受賞からまもなく10年が経つ赤松が神戸では久々となるリサイタルです。本公演は再来年の受賞10周年にむけて2年がかりで取り組むリサイタルシリーズの初回となり、ドイツ・ロマン派やリストを中核とするプログラムをじっくりと取り組む企画になっています。今後一連のリサイタルを通じて、欧米の正統的解釈に則った音楽表現が音楽を志す圈内・国内の方々への道標となることを、強く希望しています。  
連 絡 先：Office La PARADE マネージャー 佐藤まゆみ TEL/FAX 0123-28-1284  
後 援：日本音楽表現学会



橋本 悦子さん 名 称：日本の四季と西洋の調べ  
 日 時：2009年年 1月12日（月）  
 会 場：四日市市文化会館第一ホール  
 趣 旨：子どもとともに日本の新たな芸術を構築する  
 内 容：バイオリン独奏・日本の四季の歌 和と洋のコラボレーション  
 出 演 者：橋本悦子・佐藤陽子・四日市少年少女合唱団  
 共 催：(財)岡田文化財団 助成：日本音楽財団  
 後 援：日本音楽表現学会



松井 萌さん 名 称：松井萌ピアノリサイタル  
 日 時：2009年 5月17日（日）15時00分開演  
 会 場：青山音楽記念館（バロックザール）  
 曲 目：L. v. Beethoven *Klaviersonate Nr.17 op.31-2*  
           R. Schumann *Fantasiestücke op.12*  
           F. Schubert *Klaviersonate op.78 D894 G dur*  
 入 場 料：2000円  
 助 成：(財)青山財団助成公演  
 後 援：日本音楽表現学会



会 員 に よ る 新 刊 紹 介



中村 滋延さん <著書> 『現代音楽×メディアアート 音響と映像のシンセシス』  
 九州大学出版会 2008.10 ¥3,000（税別）  
 ISBN978-4-87378-980-4



栗原 詩子さん <訳本> ジャン＝イヴ・ボスール：  
 『現代音楽を読み解く88のキーワード 12音技法からミクスト作品まで』  
 音楽之友社 2008.4 ¥2,800（税別）  
 ISBN978-4-276-13253-5



安田 香さん <訳本> A.ドメル=ディエニー：  
『演奏家のための和声分析と演奏解釈 続J.S.バッハ  
平均律クラヴィーア曲集より8つの前奏曲とフーガ』  
シンフォニア 2008.7 ¥2,500 (税別)  
ISBN4-88395-133-2



贈 呈 図 書

C. ステーンストロプ著 前川陽郁、西田和久訳  
『ティーチング・ブラス—管楽器指導の新しいアプローチ』作品社 塚本学園出版助成第56号



日本音楽表現学会第7回（プロムナード in フォレスト）大会のご案内

期 日：2009年6月13日（土）～14日（日）  
会 場：宮城教育大学  
基調講演：星出 豊 氏（オペラ指揮者）  
「音楽記号と音楽表現」  
シンポジウム：「音楽創造における楽譜の意味」  
パネルディスカッション：「音楽する場と異文化受容」（仮）

共同研究・研究発表、ワークショップ、デモンストレーション等、募集中  
・発表申込〆切：2009年2月28日（土）（発表者名、発表の種別、タイトルのみ）  
・発表原稿〆切：2009年4月18日（土）（詳細は発表申込者に連絡）

実行委員会組織：実行委員長 應和恵子、副委員長：佐々木正利  
委員 水戸博道、原田博之、他 仙台近辺在住・在籍会員（現在交渉中）

## 『音楽表現学』 Vol.7 投稿についてのお知らせ

『音楽表現学』 Vol.7の投稿締め切りは2009年5月31日です。『音楽表現学』は、Vol.5からデータ入力で印刷所に入稿しています。Vol.6もこの方法でやってみて、応募原稿の段階では1段組みで差し支えないという結論に達しました。詳しくは、同封の学会誌巻末の「投稿規定」をご覧ください。Vol.7への皆さまのご投稿をお待ちしています。 <http://www.soc.nii.ac.jp/jmexs/index.html>

## ニューズレターへの投稿

ニューズレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。巻頭言にもありますように、今後の発展に関してご意見を是非お寄せください。テーマはその他何に関してでも自由ですので、みなさまの投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など：全頁で23字×35行×2段で1600字以内でお願いします。
- ・新入会員の紹介：字数は150字以内。最近の関心事、研究に関する事などご自由にお書きください。なお、「よろしく申し上げます」などの常套句は削除します。
- ・会員によるコンサート案内：タイトル、日時、会場、入場料、（出演者）、曲目、連絡先をお知らせください。企画等で趣旨が必要な場合には80字以内でお願いします。
- ・原稿はwordを用い、メールの添付書類でお願いします。受付は随時、送り先は学会メルアドへ  
E-mail: [music-expression@music-expression.sakura.ne.jp](mailto:music-expression@music-expression.sakura.ne.jp)

## 学会の会員サポート制度をご活用ください

- ★ 研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。
- ★ 大会の口頭発表は、日本音楽表現学会ならではの表現力を駆使して、文字だけでは伝えられない音声を用い、これまでの研究を発信できる場、それを参加者一同が共有できる場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ★ ニューズレター「コンサートのご案内」では、会員による各種の演奏、ワークショップ、イベントなどの活動紹介を行います。これらの活動を学会は「後援」します。みなさまの活動をニューズレター最終頁の「後援願」の様式で、どしどしお寄せ下さい。
- ★ 「新刊案内」では、会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたらお知らせください。
- ★ その他、所属されている他学会の情報などもお寄せ下さい。

## 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

ご希望の方はメールで事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3は1部1500円＋送料、Vol.4とVol.6は1部3000円＋送料、

一般価格：Vol.2～Vol.3は1部3000円＋送料、Vol.4とVol.6は1部3500円＋送料、

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

なお、Vol.1は残部がありません。



#### 事務局からのお知らせ 1 — 『音楽表現学』 Vol.6刊行

『音楽表現学』 Vol.6をお届けいたします。機関誌の充実は学会の成長の証しです。今後ますますの発展が期待されます。



#### 事務局からのお知らせ 2 — 「日本音楽表現学会会員名簿」改訂版刊行

2008年11月30日現在の会員名簿をお送りします。記事内容は会員のみなさまから寄せられた原稿に基づいています。名簿原稿ご提出ありがとうございました。なお、期日までに原稿が届かなかった会員については、これまでの「新入会員の紹介」欄および入会時に届けられた専門分野と所属等についてこちらで補充しています。会員間の親睦に、また各位のご研究にこの名簿が活用されることを念じております。



#### 事務局からのお知らせ 3 — 年会費未納の会員へ

年会費未納の方には、今回「未納年会費納入のお願い」を同封しています。納入をお願いいたします。



#### 事務局からのお知らせ 4 — 「退会規定」の検討について

現在、「退会規定」を検討中です。書式の整備とともに、著しく会費が滞納された場合どうするかについても考える時期に来ております。



#### 事務局からのお知らせ 5 — 「学会HP」アドレス変更と管理について

今秋学協会情報発信サービス利用申請に認可が下り、HPが下記に移動いたしました。  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/index.html>

今まで、学会HPは、会員の北山敦康さんのHPに寄宿させていただいておりました。北山さんには学会HPの作製と構築に始まり、管理もお願いして参りました。ご協力に心から感謝申し上げます。なお、今後のHP管理は、事務局参事の近藤晶子さんをお願いいたしました。



#### 事務局から大変重要なお願い—住所変更について—

ニューズレターや『大会要項』が宛先不明で返送されてくるケースがあります。連絡先・所属変更については学会事務局 (kyohome@agate.plala.or.jp) まで必ずお知らせいただくようお願いいたします。



(様式)

コンサート等後援願  
日本音楽表現学会の後援をお願いします。

氏 名： \_\_\_\_\_  
所 属： \_\_\_\_\_  
コンサート等の名称： \_\_\_\_\_  
コンサート等の趣旨： \_\_\_\_\_  
主な内容： \_\_\_\_\_  
期 日： \_\_\_\_\_  
会 場： \_\_\_\_\_  
連 絡 先： \_\_\_\_\_

(様式)

入 会 申 込 書  
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。

氏 名： \_\_\_\_\_  
専門分野： \_\_\_\_\_  
住 所： \_\_\_\_\_  
所 属： \_\_\_\_\_  
連絡先： \_\_\_\_\_  
連絡先電話番号： \_\_\_\_\_  
連絡先Fax.番号： \_\_\_\_\_  
e-mail アドレス： \_\_\_\_\_  
推薦者名(学会員・1名) \_\_\_\_\_  
音楽表現学会に期待されること。ご意見等： \_\_\_\_\_

ニュースレターの「新入会員のご紹介」欄のための原稿執筆のお願い

日本音楽表現学会ではニュースレターで新入会員の紹介を自己紹介の形式で行っています。申し込みと同時に原稿を送っていただくと、連絡や編集作業が順調に進みます。ご協力をよろしくお願いいたします。

1) 自己紹介の内容：以下の項目の中から適宜選択して、文章にしてください。

なお、「よろしくお願いします」などのご挨拶用文言は省きますので、あしからずご了承下さい。

- ・所属           ・専門           ・音楽表現について思うこと       ・この頃思うこと
- ・モットー       ・夢            ・ホームページアドレス、等々

2) 字数：150字を超えない程度でお願いします。

3) ㄨ切：入会申込書と同時にご提出ください。

4) 送付方法：メールの本文またはワードの添付。メールをお使いにならない方は郵送でお願いします。

5) 宛先：music-expression@music expression.sakura.ne.jp

日本音楽表現学会 役員

会 長：奥 忍	
副 会 長：佐々木正利	安田 香
理 事：権藤 敦子	谷口 雄資
土門 裕之	柳井 修
会 計 監 事：加藤 晴子	若井 健司
編集委員長：杉江 淑子	
副委員長：小西 潤子	
委員：後藤 丹	小畑 郁男
佐野 仁美	安藤 珠希

編 集 後 記

安田事務局長が巻頭言で述べられた様に、音楽表現丸のブリッジでは、航路を見極める為に昼夜を問わない激論が交わされています。理事就任1年目、そして若輩者の私にとって、経験豊富な艦長をはじめとした当直クルーの舵取りの明確さ、責任感と緻密さ、そして何よりも作業スピードには驚くばかりでした。機関室からはオーバーヒートしそうなエンジンをクールダウンしてほしいという声があがるほどです。出入港以外はオートパイロットが全てを担うこの時代。私達は音楽を頼りに、来年のプロムナード inフォレストに向けて順調に航路を開拓中です。ご支援の程、よろしくお願い致します。 (土門裕之)